

# 総括質疑

9月定例会では、決算審査特別委員会において各会派の代表が、令和6年度決算について一問一答方式による質疑を行いました。

ここでは、その質疑の一部を掲載します。

## (決算審査特別委員会小委員会での審査)



### 行財政

上村 真造

平成西山クラブ

**問** コロナ禍が収束し、5年前とは社会情勢や市民のニーズも大きく変わる中で、来年度からの第3期基本計画を策定することになる。策定にあたり市が重点を置くところはどこか。

**答** これまでワンランク上のまちづくりや子育てを進めてきた中で、必要最低限の課題解消はできてきた。さらに一步上の公園整備などの長岡京市のな子育ての特徴を出せる取り組みを3期の中で挑戦していきたい。



### 都市整備

二階堂 恵子

日本共産党

**問** リニューアルされた長岡公園は、夜間も利用できる駐車場が設置されたことで、人が集まりやすく迷惑行為が増えるのではと心配の声がある。指定管理者が事務所にはない夜間の対応はどのように管理されるのか。

**答** 夜間の公園や駐車場の管理について、公園内に防犯カメラを設置することや、指定管理者と警備会社の連携により、緊急時は現地に駆けつけることで、安全性を確保していく。



### 公共施設

小原 明大

日本共産党

**問** 産業文化会館の減免基準は、新庁舎への移転を機に市の統一減免基準に合わせると聞く。減免措置を受けている団体には、事前協議を行った上で検討すべきと考えるがどうか。

**答** 減免対象の精査は、運営委員会で議論し、複数団体へ事前に意見を聴取している。個別団体の目的や活動に対して、補助金対応も含めた支援は現在協議検討中であり、検討結果は次年度予算議案で示していく。



### 都市整備

住田 初恵

日本共産党

**問** 新庁舎西側交差点の信号機は、一方向にしか設置されておらず、通行人からも疑問の声が出ていると聞く。根本的な対策の検討が必要と思われるが、市の見解はどうか。

**答** 当該交差点は、交通規制を所管する公安委員会との協議の結果、現在の規制となっている。本市は交通規制の判断をする立場にないため、ルールに従って安全に通行をしていただけという啓発に努める。

## 総括質疑とは？

決算審査特別委員会には、分野ごとに審査する「分科会」と決算議案全体を一括して審査する「小委員会」があります。

小委員会では、各会派から選任された委員が、それぞれ一人あたり30分の持ち時間で、一問一答方式の質疑を行います。これを「総括質疑」と言います。

詳しい総括質疑(小委員会)の内容は、ホームページの「会議録検索システム」の中で随時掲載しています。





## 教育

宮小路 康文

輝(かがやき)

問 教育支援センターでは、様々な相談体制の充実をアゼリアひろるばで行っており、活動の部屋の増設も進んでいると聞く。ひろるばの利用を通じて子どもの変化や居場所としての機能をどのように捉えているか。

答 アゼリアひろるばは、子どもが安心できる居場所としての機能を大切に、個々の子どもに応じ、社会的自立という目標に向かって成長している場となることを目指している。



## 地域振興

富田 達也

輝(かがやき)

問 新田保育所跡地では、昨年度末まで、公民連携によりセブンストリート・ラボ運営に取り組まれた。この公民連携で得た知見を今後どのように活用するのか。

答 様々な公民連携を考える中で、目的と時間軸、役割分担を担い手としてしっかりと対話を通じて共有することが重要と考えており、得られた知見やノウハウを今後の遊休地の活用やにぎわい創出などで活かしたい。



## 上下水道

福島 和人

公明党

問 上下水道事業の決算が確定したが、決算の状況や上下水道ビジョン前期が終了したことを受け、どのように総括しているのか。

答 上下水道事業は、当初予算と比べ経営収支がよくなり、健全な経営が行えた。また、ビジョン前期の総括では、上下水道事業とも、計画に掲げる具体的な取り組みを進め、最終目標は達成できる見込みであり経営面も前期を通じ健全に行えている。



## 教育

富岡 浩史

長岡京黎明の会

問 学校衛生基準については、児童・生徒の発育、発達と健康の保持などを目的としている。策定当時から学校の環境はかなり変わったが現在も目的を順守されているか。

答 学校の環境衛生基準は、新たな知見や学習環境の変化を踏まえ改正されてきた。本市ではこの基準をはじめ施設整備の点検を行い、適宜必要な改善を図りながら、学校保健安全法の目的を順守し取り組んでいる。



## 福祉

干場 志都恵

輝(かがやき)

問 健康すぽっとのびのび苑は、複数法人の連合体による指定管理者が管理運営業務を担っている。連携や役割分担は円滑に機能しているか。

答 3つの法人は、直接利用者の方と対応する管理運営業務や相談業務、施設整備の維持管理をそれぞれ担っている。また、生活上の相談であれば、必要に応じて地域包括支援センターへの案内の対応など個別対応も行い、連携して運営をしている。



## 都市整備

三木 常照

平成同志クラブ

問 本市は、市営住宅の長寿命化を目指し、令和3年に第2次市営住宅等長寿命化計画を10年の実施期間で策定した。今年で5年を迎えるため中間検証が必要と考えるがどうか。

答 現在、中間検証を行っているところで、最新の統計データをもとに、計画策定時から需給バランスがどれだけ変化したか確認中だが、現況から見ると、民間賃貸住宅家賃補助の継続は必要だと考えている。



## 行財政

川口 良江

長岡京未来の会

問 主要施策の成果等説明書は数値化することで分かりやすい反面、数値化に適さないものもあると考える。すべてを数値化する必要はないと考えるがどうか。

答 主要施策の成果等説明書は、決算の内容をより具体的に説明できるように作成している。数値化になじまない事業があることは認識しており、定性的な指標を設定するなどの工夫をしている。



## 環境

中小路 貴司

平成自民クラブ

問 平成31年3月に森林環境税、森林環境譲与税が制定され、京都府では平成28年から豊かな森を育てる府民税が導入されている。この活用状況や執行状況はどのようなものか。

答 森林環境譲与税では、利用間伐や保育間伐、もとの森林に戻す竹林の面的整備などに活用している。また、豊かな森を育てる府民税では、風倒木の処理や放置竹林の拡大を防ぐ竹林の線的整備に活用している。